

教育委員会だより

まちぐるみ GuRuMi 地域ぐるみ 学校ぐるみ

第14号

令和4年2月1日
発行

田川市教育委員会

子どもたちの育ちの姿、うれしいです!!

田川市教育委員会 教育長 吉柳啓二

「このコンテストを通して、人前で自分の意見を英語で表現することの大変さがわかりました」「私は、英語で話す楽しさを知りました。いい経験になりました」「3年間参加しているのですが、年々、みんなのレベルが高くなっていて、すごく練習しているんだろうなと思いました。みんな、入賞していいくらい上手だったと思います」

上の文章は、「第4回中学生英語スピーチコンテスト」に参加した市内中学生の大会後の感想の一部です。今回のスピーチ大会の特色は、「自由課題（自分でテーマを決め、思いや考えを英語で発表する）」に挑戦する生徒が16人中12人もいたことです。そのテーマも「少林拳」「生徒会」「ヤマメと私」「SDGs」など、多種多様です。1回目から審査を担当していただいている青山学院大学の木村松雄教授も「田川市の生徒たちの英語力は確実に高まっています！」と太鼓判を押してくださいました。



すごいのは中学生だけではありません。11月に初めて開催した「第1回田川市自由研究作品展プレゼン部門」においても、個人部8人とグループ22人の計30人の小学生が頑張りました。「雲はどうやってできるのか?」「いろんなチョークを作ろう!」「なぜ、明太子が福岡の名物になったのか」「田川市のよいところ」等、自分でテーマを決めてパソコンでプレゼン資料を作り、発表しました。子どもたちの発表を見た先生の感想アンケートには「どの子も堂々としていて、田川の子どもたちのたくましさを感じる発表だった!」と書かれていました。田川市のICT教育アドバイザーである中村学園大学の山本朋弘教授も「小学校全体のプレゼン大会は福岡県で初めてだろう!画像やイラストを上手に使っていた!」と高い評価をしてくださいました。また、同じく11月に行われた「少年の主張」田川市大会でも市内8中学校の代表が自分の思いや考えをしっかりと発表しました。最優秀賞を獲得した「努力のキセキ」というテーマの主張はニュースでも紹介されていました。



最後にもう一つ。私が自家用車で通勤する途中、毎朝、女子中学生2人が交差点の分離帯付近でゴミはさみと軍手を使って、ゴミ拾いをしているのです。車の窓から「学校の取組でゴミ拾いをしているの?」と聞くと「いえ、自分たちでしています!」と元気に答えてくれました。私は市内の小中学校の子どもたちの頑張る姿や育ちの姿をたくさん見せてもらい、本当にうれしいです!



田川っ子が頑張っています！

第1回 自由研究作品展プレゼン部門

情報活用能力の育成を目指して (令和3年11月6日・市民会館)



吉柳教育長が
プレゼンの
模範を見せて
くれました。



研究や調査をして分かった
ことや感じたことについて、
自作のスライドを使って、
聞き手に分かりやすく伝え
ることができていました。



当日は、市内小学校から15組が参加して、夏休み中の自由研究や学校で学習したことを自作のスライドを用いて発表しました。発表後の感想では「練習どおりうまく発表ができた」という感想の他、「(他校児童の) 自信をもって堂々と発表する姿を見て、次はもっと分かりやすく発表したい」と決意を述べる児童もみられました。

山本教授からは、「間違えても大丈夫！失敗と挑戦を繰り返しながら自分なりの答えを見つけてほしい」と、アドバイスをいただきました。

みんないきいき堂々と

第4回 中学生英語スピーチコンテスト

グローバルな人材育成を目指して (令和3年10月29日・市民会館)



「英語で伝えたい」という思いを持ち、表情豊かに堂々とスピーチができていました。



最優秀賞や審査委員長賞など、入賞した8名の生徒が、筑豊大会に参加しました。



たがたん

当日は、市内中学校から16名の生徒が参加し、身振り手振りを交えながら表情豊かに英語でスピーチをしました。進行をALT（外国語指導助手）がオールイングリッシュで行ったり、スピーチ後に審査員と英語でやりとりしたりと、会場はまさに英語一色！

参加した生徒からは「自分の改善点が見つかったので、次回はもっと良いスピーチをしたい」などの感想が聞かれました。審査員からは「年々英語の発音が良くなっているし、感情を込めてスピーチすることが上手くなっていますね」と高評価をいただきました。

「少年の主張」田川市大会を開催

令和3年11月20日に田川青少年文化ホールで「少年の主張」田川市大会を開催しました。この大会は、中学生に物事を考える力や広い視野を養ってもらう目的で始まり、今年で35回目の開催となりました。

弓削田中学校放送部の進行のもと、市内8中学校から選ばれた代表者それぞれが自らの感動や悲しみなどの経験をもとに、自ら考え、今後の人生にいかしていく思いなどを自分の言葉で発表しました。また、猪位金学園の二橋真音衣さんが最優秀賞、中央中学校の金本草汰さんが優秀賞を受賞し、2月開催予定の田川地区大会に出場します。



▲市内8中学校の代表者のみなさんと、司会である弓削田中学校放送部の2人

小学校で「読書リーダー養成講座」を開催

令和3年11月30日、小学生期における読書活動の充実と読書習慣の定着を図るために、伊田小学校の図書委員会活動に講師と市立図書館職員が出向いて、「読書リーダー養成講座」を開催しました。



熱心に創作する子どもたち



手作りのポップで図書を紹介♪

●市立図書館の利用について●

[平日（火曜日から金曜日）] 9時30分から20時まで

[土日祝日] 9時30分から18時まで ※月曜日は定例休館日(月曜日が祝日の場合は次の日)

新型コロナウイルス感染症感染拡大防止の観点から、臨時休館する場合がありますので、来館前にご確認ください。(問い合わせ 市立図書館 ☎0947-44-0384)

小学校で「クラシック演奏会」を開催

芸術文化に触れる場を提供するために、毎年、市文化センターが行っている出張演奏会。今年度は、令和3年11月24日に大浦小学校・大藪小学校にて、田川地区にゆかりのある演奏家、城田恵さん(ヴァイオリン)・宮原絵理さん(ヴィオラ)・馬渡英子さん(ピアノ)の演奏をお届けしました♪



▲いつもの体育館が演奏会場に



市ホームページ



ツイッター

市ホームページやツイッターでは「田川市中学校再編推進だより」や中学校再編に関する情報を掲載しています。